

事務事業マネジメントシート(令和 4年度実績と令和 5年度計画)

令和 6年 1月 9日 更新

事務事業名	熊本電鉄安全輸送設備等整備協議会参画事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合計画体系	政策	5	都市基盤の健康		所属部	市長公室	
	施策	25	公共交通の充実		所属課	企画課	
	施策の柱	68	公共交通の利便性の向上		所属班	企画広報班	
予算科目	会計一般	款 2	項 1	目 11	事業連番	11587	
				根拠法令	地域公共交通確保改善事業費補助金交付要綱		
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 4年度で終了 <input type="checkbox"/> 4年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 24 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)	

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	関係者(国、熊本県、熊本市、合志市、熊本電鉄)で組織する熊本電鉄安全輸送設備等整備協議会(地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱に基づく協議会)に参画し、熊本電鉄の鉄道軌道安全輸送設備等整備事業計画の事業実施に伴う協議並びに事業補助金の支出に関する事務を行なうもの。
【業務の流れ】	熊本電鉄安全輸送設備等整備協議会への参画、事業補助金の支出事務
【主な予算費目】	補助金
【意見や要望】	特になし

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 4年度実績(4年度に行った主な活動)(DO)	熊本電鉄(株)が実施する鉄軌道安全輸送設備等整備事業(車両更新、運転状況記録装置、重要部検査、まくら木PC化、電柱コンクリート化、変電所更新)に対して国・県・熊本市と協調し、21,809千円の補助金を交付した。令和4年度は変電所更新事業があり、補助額が令和3年度より増額となった。(負担割合:国6/18、県2/18、熊本市2/18、合志市1/18、電鉄7/18)	5年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 熊本電鉄安全輸送設備等整備協議会への参画及び補助金(車両全般検査、電柱コンクリート化、まくら木PC化)の支出を行う。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 円 事業計画による事業費に対する補助金額	予算の主な増減の理由 変電所更新工事完了(事業計画整備事業費)による補助金の減
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	熊本電鉄	② 対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位) 社 ア: 熊本電鉄 イ:
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	鉄道の維持存続を図る	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位) 便数 ア: 鉄道施設の不具合が原因の運休便数 イ:
*③成果指標設定の理由と 5年度目標値設定の根拠 現行の運行本数を維持する		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	2年度実績(決算)	3年度実績(決算)	4年度目標(当初予算)	4年度実績(決算)	5年度目標(当初予算)	6年度予定	7年度見込	8年度見込
① 活動指標	ア	円	13,001,302	5,476,428	21,977,000	21,809,033	11,567,000	7,334,000	5,862,000	5,972,000
	イ									
② 対象指標	ア	社	1	1	1	1	1	1	1	0
	イ									
③ 成果指標	ア	便数	0	0	0	0	0	0	0	0
	イ									
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
		一般財源	千円	13,001	5,476	21,881	21,809	11,567	7,333	7,333
	(A) 事業費計	千円	13,001	5,476	21,881	21,809	11,567	7,333	7,333	0
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
	人件費	正規職員従事人数	人	2	3	3	2	3	3	3
延べ業務時間		時間	120	190	170	30	0	0	0	
	(B) 人件費計	千円	473	742	677	114	0	0	0	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	13,474	6,218	22,558	21,923	11,567	7,333	7,333	

事務事業名	熊本電鉄安全輸送設備等整備協議会参画事業	所属部	市長公室	所属課	企画課
-------	----------------------	-----	------	-----	-----

## 2 評価の部 (CHECK)

\*原則は4年度の事後評価、ただし複数年度事業は4年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 4年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	② 5年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 現状の鉄道輸送に関するサービス内容が低下しなければ目標達成の見込みあり
有効性評価	③ 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 鉄道輸送に関するサービス内容（インバウンド対応）路線の安全整備（老朽車両の更新や木枕木のPC化）が進めば成果向上の余地あり。
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある⇒【理由】（具体的な手段、事務事業） <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似事業なし
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 事業費の自治体支出分に対する関係自治体の負担割合の考え方については熊本市と歩調を合わせているため、本市の負担割合をこれ以上引き下げることにはできない。
	⑥ 人件費（延べ業務時間）の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 協議会構成員であるため、外部委託は不可能。また、事業内容協議および補助金支出業務のみであるため、人件費を削減する余地なし。
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 公共交通に関する事業であり、全市民が利用できるため公平である。
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 公共交通の維持・確保について、市と事業者が連携して実施している。

## 3 評価結果の総括 (CHECK)

安全輸送に資することは、市民の安心・安全な移動に繋がるため、今後も関係団体と連携を図りながら事業を実施していく。

## 4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p>																						